

## 2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	027	訓練分野	A.品質保証・管理－品質保証・管理手法
コース名	品質管理実践		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-011-027 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/12/11（木） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	初任層・中堅層 ●品質管理活動に取り組みたい方 ●QCサークルを活性化させたい方 ●QC的問題解決法を理解したい方		
習得する スキル等	●品質管理の考え方 ●不良・クレームゼロを実践するために必要な知識と技能		
ポイント	不良、クレーム発生原因を分析し、品質管理活動の推進方法を習得していただく。 また、自部署における問題点の解決案を演習にて検討いただく。		
	<p>1 品質管理の進め方</p> <p>（1）品質とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質の定義・品質の具備すべき要素</li> </ul> <p>（2）品質管理と品質保証の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不良ゼロの品質保証と良品を作りこむための品質管理の違い</li> <li>・両者の必要性</li> </ul> <p>（3）TQMの考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社・全組織で品質管理に取り組む必要性の背景</li> <li>・取り組みの目的と活動内容</li> </ul> <p>2 品質管理活動の推進</p> <p>（1）品質管理活動の基本と問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の潜在的な問題によるトラブル防止の考え方</li> <li>・陥り易い盲点</li> </ul> <p>（2）製造管理のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質を造り込むために必要なポイント</li> <li>・陥り易いヒューマンエラーのメカニズムと対策</li> </ul> <p>3 不良・クレームゼロの実践</p> <p>（1）不良ゼロの意義と効果</p>		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場トラブルによる目に見える企業の損失とリスク</li> <li>・市場トラブルによる潜在的な企業の損失とリスク</li> <li>・不良ゼロの効果</li> </ul> <p>(2) トラブルの再発防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質情報の管理の仕組み</li> <li>・是正措置と管理の考え方</li> <li>・組織的な取り組み</li> <li>・小集団（QCサークル）活動と活性化</li> </ul> <p>(3) 原因解析、水平展開、根本的解決の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『根本原因解析法』の考え方</li> <li>・水平（横）展開</li> </ul> <p>(4) 問題解決の手法【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新QC七つ道具（根本原因解析）：系統図法+マトリックス図法 なぜなぜ分析、QAマトリックス</li> <li>・統計的な考え方（IT機器の活用で合理化を図る）</li> </ul> <p>(5) トラブルの未然防止活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FMEAの活用による未然防止活動</li> <li>・FTAの活用による未然防止活動</li> <li>・リスクアセスメントによる未然防止活動</li> <li>・変更管理による未然防止活動</li> </ul>		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	－	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。	
備 考	－		